

所在地：奈良県明日香村 選定年月日：平成23年9月21日 面積：565.8ha 選定基準：二(一)(一)(五)(八)

## (1) 概要

明日香村の中央部を貫流し大和川へ注ぐ飛鳥川の源流域では、杉・檜が卓越する深い植林地の中に集落・農地が営まれています。奥飛鳥地域の記録は皇極天皇元年（642）に遡ることができ、中世末期には入谷（にゅうだに）・栢森（かやのもり）・稲渕（いなぶち）・畑（はた）の四大字が飛鳥川上流域のムラとして成立したとされています。地域では萩や山吹などいわゆる万葉植物の植生も卓越しており、豊かな生態系が育まれています。

飛鳥川沿いに展開する河岸段丘面上や山裾、山の緩斜面上には、小規模な集落が展開しています。いずれも斜面地に平場を造成するために、飛鳥川の川石や山を切り開いた際に出土した石材を用いた石積みを伴います。集落の中には、急傾斜の茅葺き屋根と緩傾斜の瓦葺き屋根を有した落棟とを組み合わせた大和棟（やまとむね）の民家が点在しており、石積みと併せて独特の集落景観を形成しています。

地域では主に農業が営まれており、特に稲渕では地域でも有数の広さを誇る棚田が形成されています。棚田には15世紀に遡るとされる井手によって水が供給されており、最長3.8kmを誇る大井手をはじめ数10本の井手が耕作者によって管理されています。地域では集落から飛鳥川に降りる階段を設えたアライバが現在も機能しており、また盆迎え・盆送りが飛鳥川を通じて行われるなど、飛鳥川と強く結びついた生活が営まれています。

このように、奥飛鳥の文化的景観は、飛鳥川上流域において展開される、地形に即して営まれてきた居住の在り方と、農業を中心とした生業の在り方を示す価値の高い文化的景観です。



河岸段丘上に立地する稲渕集落



石積みが顕著な栢森集落

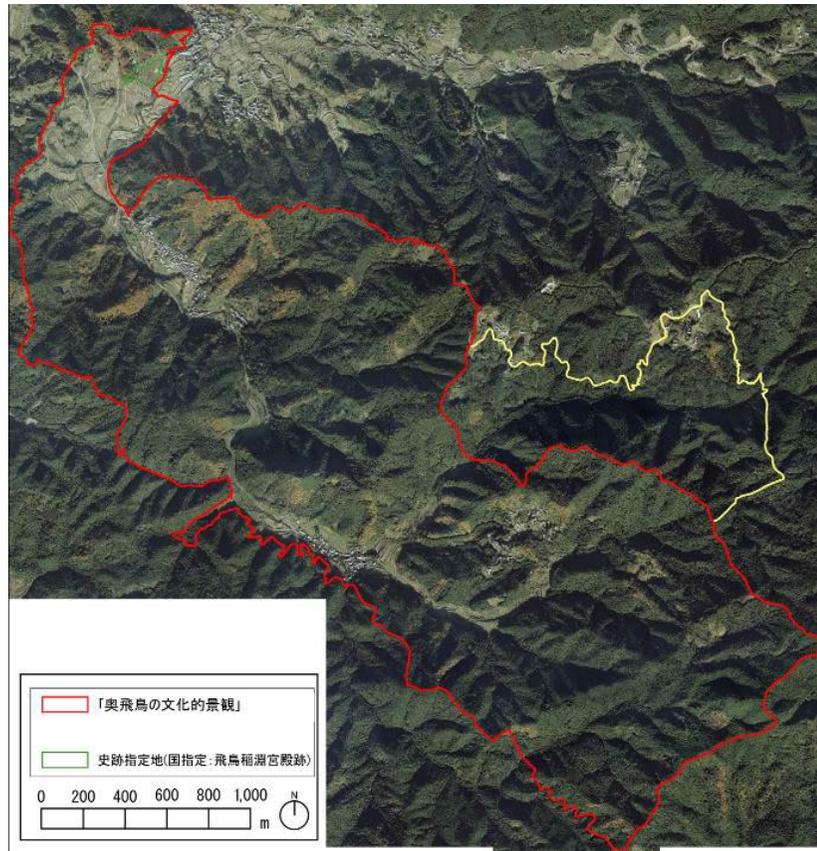


稲渕の棚田



大和棟の家屋が卓越する入谷集落

## （2）選定範囲



- 重要な構成要素：14件
- 国指定等文化財：飛鳥稻淵宮殿跡（史跡）

## （3）選定による効果

稲渕・栢森・入谷大字の全域と阪田・祝戸大字の一部が、重要文化的景観として選定されており、それぞれの集落で異なる特徴を活かした活用の取り組みが進められています。

その中でも稲渕には飛鳥地域でも有数の規模を誇る棚田の景観が広がり、流れる飛鳥川沿いには緩斜面などを利用した集落が展開されるなど棚田とそれを維持する農業基盤が保たれています。このように歴史的居住空間と農業を中心とした生業のあり方を示す文化的景観が良好な状態で今に伝えられ、毎年四季を通じて多くの観光客の来訪と、この景観を次世代に引き継いでいくことを可能としました。



稲渕の棚田 初夏の風景



棚田オーナーとともに行う収穫

## （4）保存活用計画などの基礎情報

- 明日香村景観計画(平成23年3月/同24年3月/同27年4月/同28年4月/令和2年8月改訂、明日香村)
- 「奥飛鳥地域の文化的景観」保存計画(平成22年11月、明日香村)
- 明日香村文化財総合管理計画(平成17年3月/同26年3月改訂、明日香村)
- ホームページ

[https://www.asukamura.jp/gyosei\\_bunkazai\\_keikan\\_about.html](https://www.asukamura.jp/gyosei_bunkazai_keikan_about.html)

## (5) 活用事例

### 事例29-01 ①

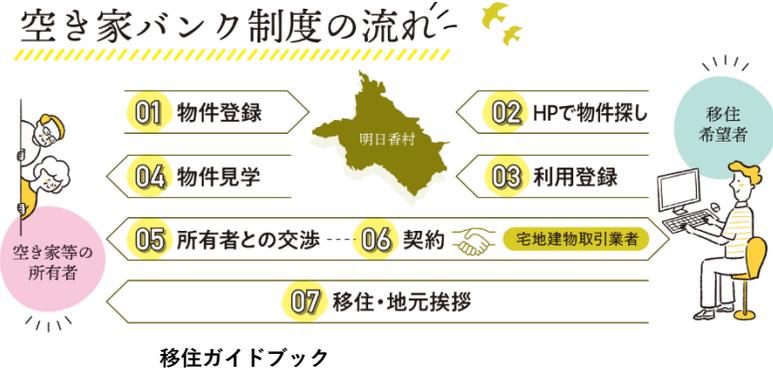
### 空き家バンクにより実現した、一棟貸し切り古民家宿

#### ●行政と住民等の協働による取り組み

明日香村では、「明日香村空き家等活用バンク制度」を設けて、「空き家や土地、店舗などに利用できる建物をお持ちの方」と、「村内で定住・店舗開業などを希望される方」に情報提供を行うことで、空き家や土地の有効活用を通して景観の維持や村民と都市住民の交流拡大及び定住促進などによる地域の活性化を図っています。

栢森にある築250年を超える古民家は、平成30年に空き家バンクに登録されました。平成31年にはフルリノベーションされ、一棟貸切古民家宿「弥栄」としてオープンしました。自然豊かな奥飛鳥の地で鳥の鳴き声や川のせせらぎに耳をすませ、心身ともに癒やされるリトリートや、焚火・バーベキュー・サイクリング・テントサウナなどの体験もできます。

昨今、多くの方が奥飛鳥の暮らしや自然に魅せられ移住されています。高齢化や人口減少が進む奥飛鳥で、伝統的な農業と生業を維持しつつ、景観を保全する取り組みとして「奥飛鳥地域の文化的景観」は重要な役割を担っています。



明日香村で暮らすイメージムービー



一棟貸切古民家宿「弥栄」

団体等情報：明日香村空き家等活用バンク制度

[https://www.asukamura.jp/gyosei\\_jinkoyudo\\_akiyabank\\_about.html](https://www.asukamura.jp/gyosei_jinkoyudo_akiyabank_about.html)

弥栄（やさか） <https://yasaka-asuka.com/>

① 地域内での  
魅力の共有

② 活性化の  
目標の共有

③ 地域外への  
広報

④ 魅力を  
引き出す

⑤ 資源の  
確保と運用

⑥ 人づくり

## (5) 活用事例

### 事例29-01 ②

### 企業との連携協定に基づく棚田景観の維持保全

#### ●行政と住民等の協働による取り組み

明日香村では農業従事者の高齢化などによる農業後継者の不足などを背景として耕作放棄地が増加しており、(一財)明日香村地域振興公社が所有者に代わって水稻生産を行うことで、稲刈棚田の景観維持保全に努めています。

平成29年9月に(株)長谷エコーポレーション・(一財)明日香村地域振興公社・明日香村の3者は、古都飛鳥の歴史保全活動並びに明日香村の産業及び地域活性化を図るためのプロジェクトを連携して取り組み、相互に協力することを目的とした官民連携包括協定を締結しました。

この協定による取り組みの1つとして、農業振興施設内機器整備などの事業に対して、(株)長谷エコーポレーションから企業版ふるさと納税をいただいたことで、農業振興に欠かせない農業機械を整備し、持続的な営農活動体制の充実化が図られました。(株)長谷エコーポレーションは、これら農業支援などを含む明日香村での歴史・景観保全活動及び地域活性化への取り組みが評価され、メセナアワード2023優秀賞を受賞しました。

重要文化的景観に選定された奥飛鳥の文化的景観を中心とした「日本人の心のふるさと・明日香村」の社会的価値について、企業と地方が共有共感することで、次世代へ継承していくことを実現しています。

✓ **メセナアワード2023優秀賞**

明日香村プロジェクトで実現したい  
3つのテーマ



「明日香村プロジェクト」ホームページより



官民連携による農業機械の整備



官民連携による農業機械の整備

団体等情報：長谷エグループ  
<https://www.haseko.co.jp/hvl/project/asukamura.html>

① 地域内での  
魅力の共有

② 活性化の  
共有

③ 地域外への

④ 魅力を引き  
出す開発

⑤ 財源の  
確保と運用

⑥ 人づくり